

# 街路の風景

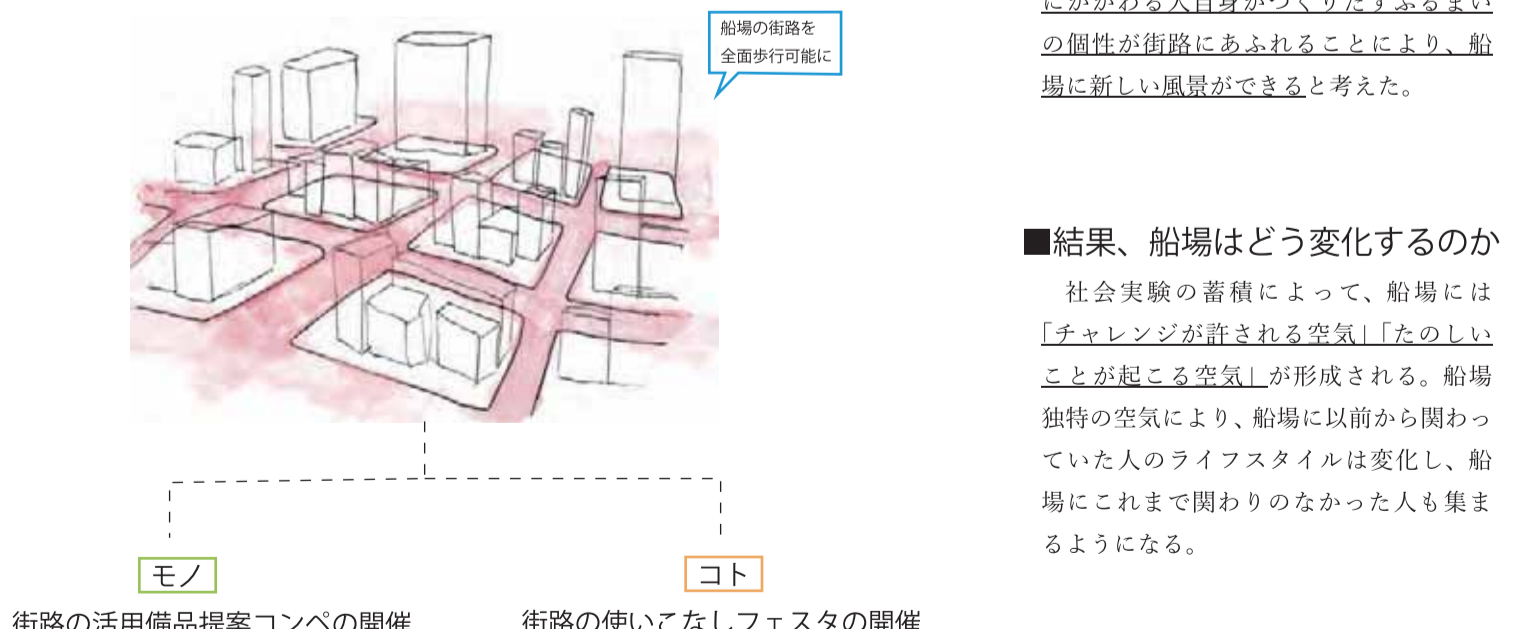
## - 継続的な社会実験のデザイン -

船場の特徴は、江戸時代より整備された美しい街区と広い通り・筋。しかし船場の街路は、いまやコンクリートで固められた車道と変わらない姿をしており、平坦で見通しが良いという特徴は凡庸な風景を生み出す要因となっている。

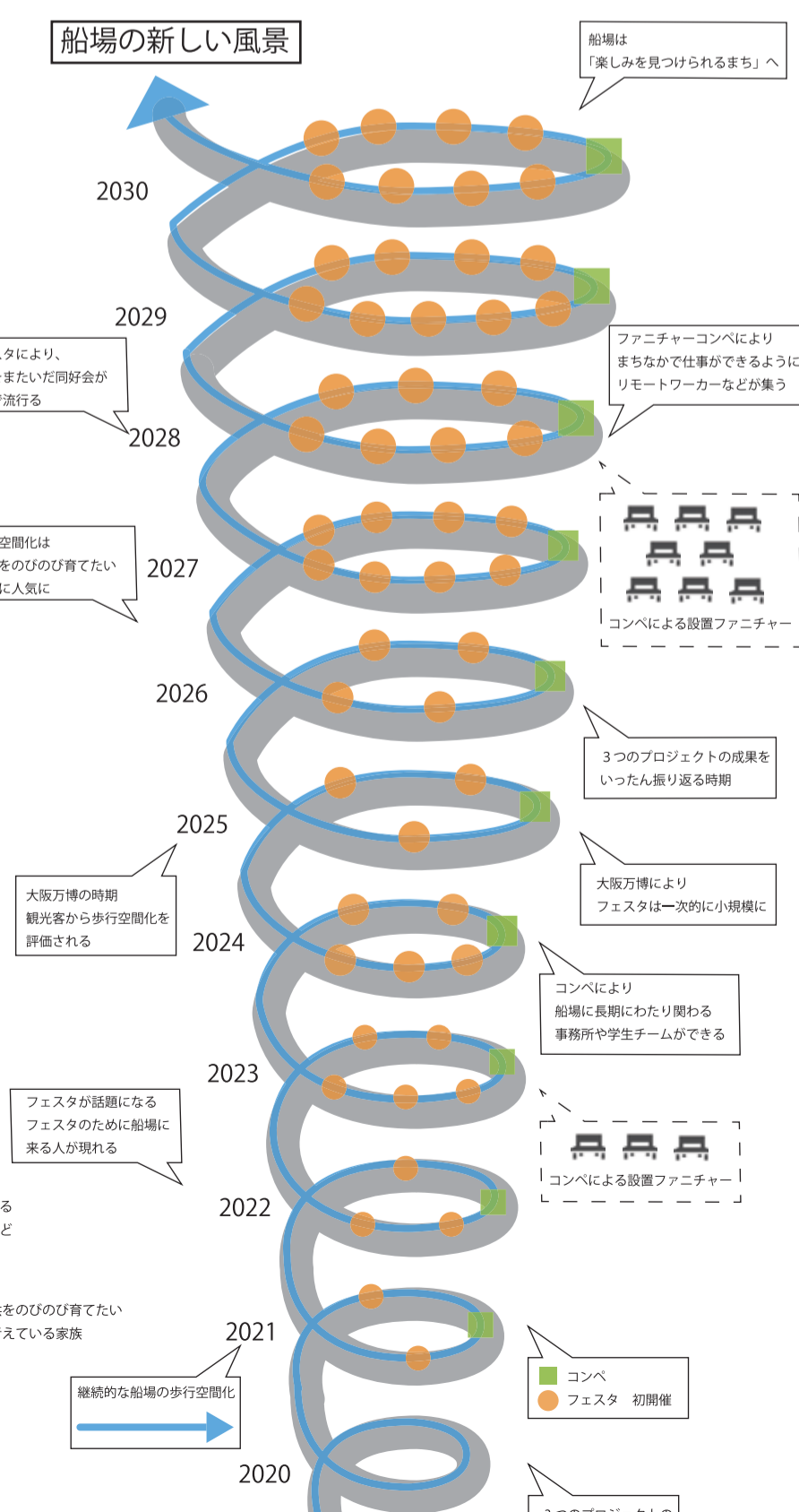
船場の街路をキャンパスのように、船場で過ごす人が楽しみを見つけられる場として使うことはできないだろうか。

船場に関わりを持つ人々自身が、彼らにとって居心地の良いまちをつくりあげていくために、継続的な社会実験である3つのプロジェクトを提案する。

### ■3つの社会実験



### ■社会実験の継続でできるビジョン



### ■なぜ船場において行うのか

船場は美しく区画された街路を持っているが、その連続性によりどの街路も同じような印象を抱かれがちである。船場にかかわる人自身がつくりだすまじの個性が街路にあふれることにより、船場に新しい風景が生まれると考えた。

### ■結果、船場はどう変化するのか

社会実験の蓄積によって、船場には「チャレンジが蓄積される空気」「たのしいことが起こる空気」が形成される。船場独特の空気により、船場に以前から関わっていた人のライフスタイルは変化し、船場にこれまで関わりのなかった人も集まるようになる。

### ■新しく船場にあつまる人

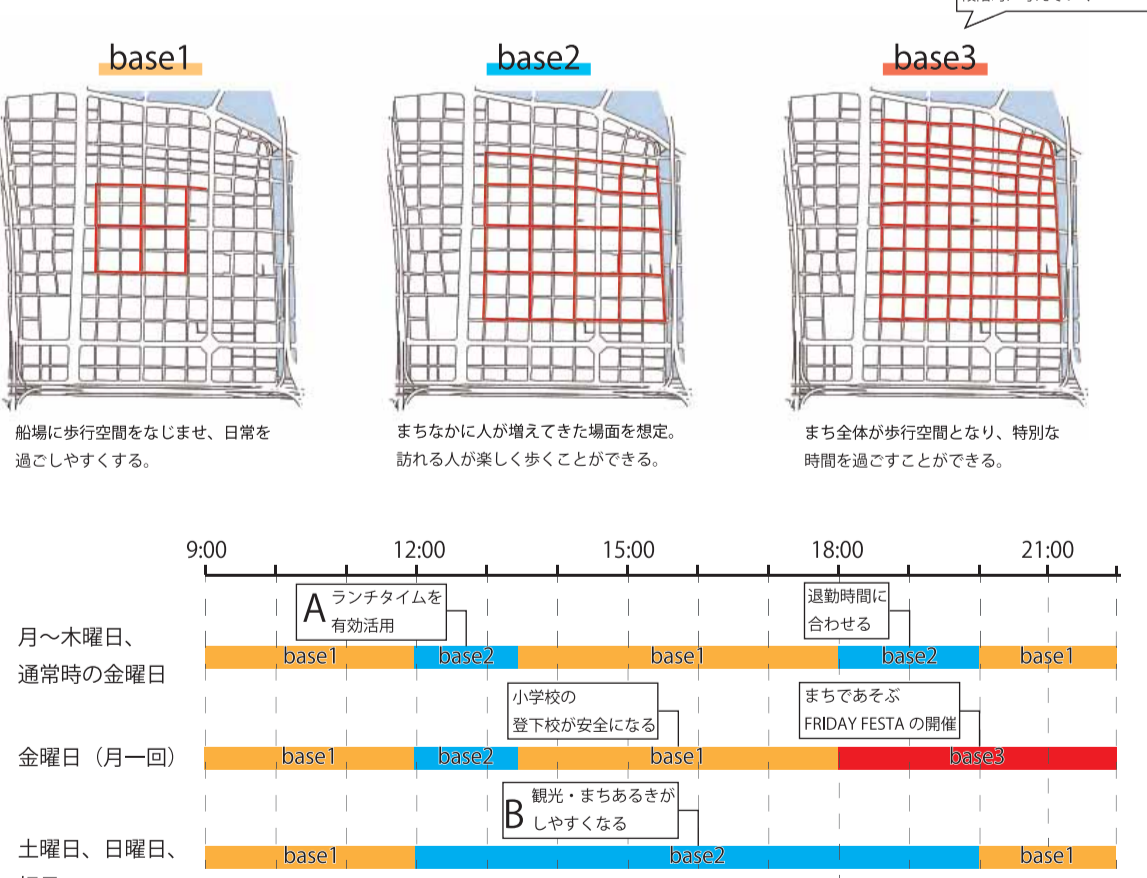
街中の自由な設計をできる建築家・デザイナーなど  
まちでパフォーマンスをするミュージシャン・アーティストなど  
街中で自由に遊べるフリーランサーやフリーワーカー  
街中を歩きながらみんなで見つめる  
実際にまちを歩かせるインベティバな企業・団体

## 1. 船場歩行空間化プロジェクト

### - 「にぎわう街路」の土台をつくる -

船場の特定の街路を「社会実験」として車両通行止めとし、全面歩行可能にするプロジェクトである。base1-3の3つの種類の土台を設け、時間帯によって使われ方を想定したうえで実施する。

### ■3つの土台の設定とスケジュール

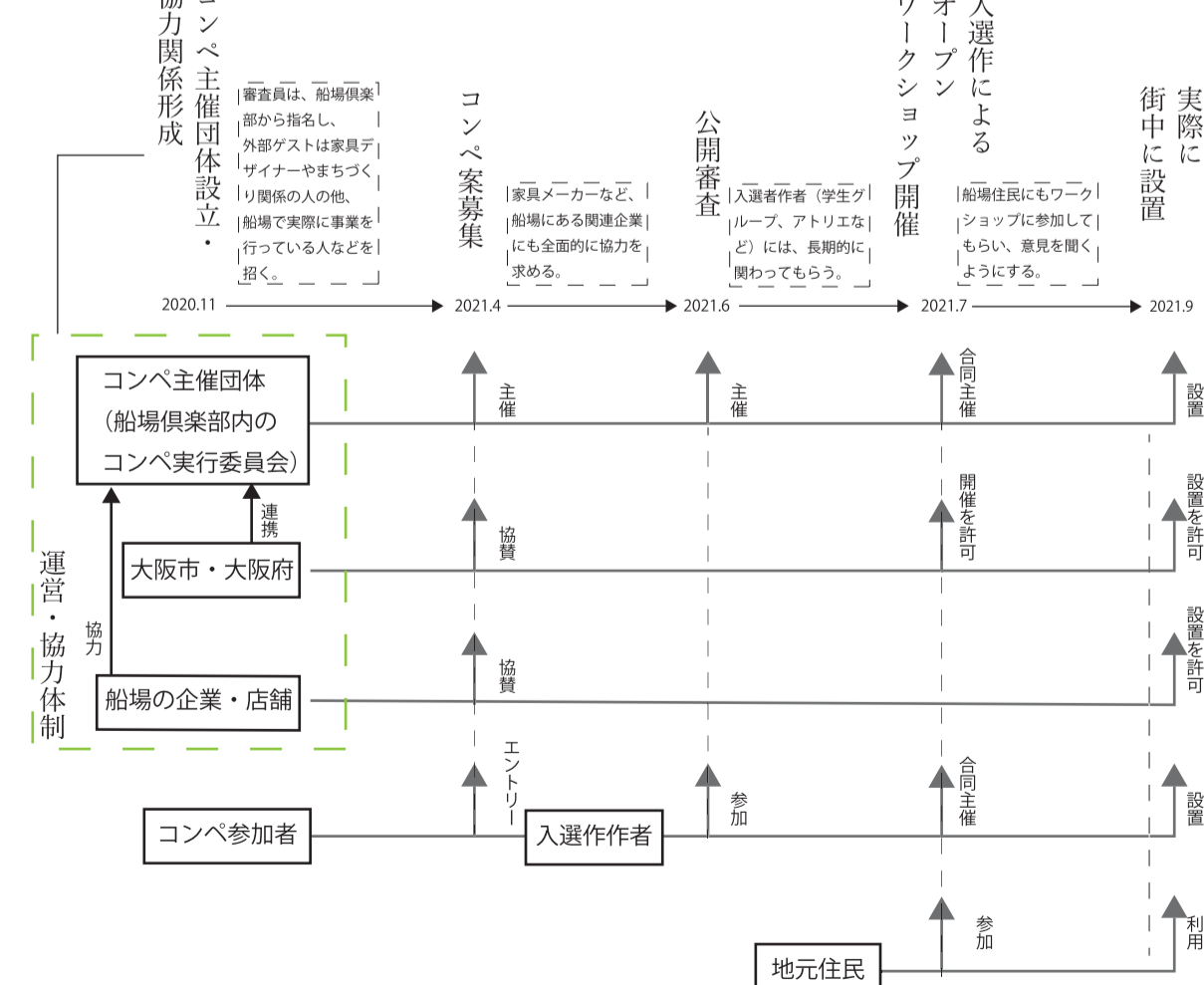


## 2. 街路の活用備品提案コンペの開催

### - 船場の風景を作るストリートファニチャーコンペ -

企業やNPO、アトリエや大学を対象に、船場を過ぐやすく、暮らしやすくできるようなストリートファニチャー（道路に展開するパブリックな備品）を提案するコンペを開催し、優秀案は実際に設置する。

### ■コンペのスキーム図



### ■コンペの展望

2021年に第一回を開催し、以後、毎年同様に継続して開催することを目標とする。入選作を実際に設置することを原則としたうえで、コンペを継続して行うことで、様々な船場のストリートファニチャーが街中に増えてゆく。

## 3. 街路の使いこなしフェスタの開催

### - まちであそぶ FRIDAY FESTA -

毎月一回、金曜日に大きな範囲の街区で歩行空間化が行われることとあわせて、船場地域のオフィスやマンション、店舗を対象に、小さな催しのアイデアを募集し、それを実行する。街路の自主的な使いこなしがあちこちで起こるフェスタを開催する。

### ■フライヤーイメージ

